

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条第1項
【提出先】	福岡財務支局長
【提出日】	2021年6月24日
【事業年度】	第23期(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
【会社名】	E05317)

第一部【企業情報】

(2) 提出会社の経営指標等

3【事業の内容】

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、当社及び子会社14社により構成されており、遺伝子改変マウスの作製受託、抗体作製受託、臨床・非臨床試験受託、遺伝子解析受託、病理診断サービス、M & Aによる新規事業の推進、事業承継及び事業再生分野における助言・支援サービスを主たる業務としております。

当社グループの事業内容及び当社と関係会社の当該事業に係る位置付けは次のとおりであります。

[事業系統図]

以上述べた事項を事業系統図によって示すと次のとおりであります。

4【関係会社の状況】



(5) 事業上及び財務上の対処すべき課題

グループの成長を維持し企業価値の持続的向上を実現するためには、事業領域の両輪である創薬支援事業とTGBS事業について、双方の事業特性を活かしながら事業基盤の拡大を図っていくことが重要であると考えております。なお、当連結会計年度末の現金及び現金同等物の残高は3,030,149千円であり、今後の事業展開に必要な資金を十分確保しております。

創薬支援事業

当事業は、創薬の初期段階である探索基礎研究・創薬研究から、動物による非臨床試験、臨床試験、病理診断まで、創薬のあらゆるステージに対応できるシームレスなサービスをグループで展開しております。

当事業は、人材及び設備に対する先行投資や中長期的な先端技術の開発努力が必要とされる反面、成果獲得時には高収益が期待でき、中長期的に大きな成長が期待できます。

2021年4月には、遺伝子改変マウス事業を株式会社安評センターへ、抗体事業を医化学創薬株式会社へ事業譲渡し、グループの経営資源の集約を進め、高付加価値サービスの開発に一層注力する体制を整えました。今後も、グループ内でシナジーのある施策を進め、付加価値の向上に努めてまいります。

TGBS事業

E05317)

法的規制について

a . 実験動物関連

創薬支援事業の実験動物関連サービスに関して、動物愛護の観点などから、欧米特に欧州では実験動物使用

E05317)

(売上総利益)

創薬支援事業におきましては、上記のとおりPCR検査の受託収入が増加しましたが、同検査は比較の変動費比率が低いことから、検査数の増加に伴い売上総利益が大幅に増加するとともに売上高総利益率も上昇いたしました。

TGBS事業におきましては、上記のとおりEコマース事業は前期比で売上高は減少したものの、巣ごもり需要に対応した売れ筋商品の仕入れに努め粗利率の改善に努めたほか、独自の仕入ルートの強みを活かしたトレンド商品の取り扱いに注力した結果、売上総利益は前期比で増加し売上総利益率も前期比で上昇いたしました。一方、その他事業は上記のとおり売上高の減少が影響したため、売上総利益は前期比で減少し売上総利益率も前期比で低下いたしました。TGBS事業全体では売上総利益は前期比で増加し売上総利益率も前期比で上昇いたしました。

この結果、連結売上総利益は、前期比で997,380千円増の2,777,105千円となり、連結売上高総利益率は25.1%（前期は16.1%）と前期比で上昇いたしました。

(営業利益)

創薬支援事業におきましては、売上総利益の増加に伴い営業利益も前期比で755,914千円増の745,421千円と大幅に増加し、売上高営業利益率も20.8%（前期は10,493千円のセグメント損失）と前期比で大幅に改善いたしました。

TGBS事業におきましては、Eコマース事業は売上総利益と同様に前期比152,754千円増の234,414千円となり売上高営業利益率も4.4%（前期は1.5%）と前期比で改善いたしました。一方、その他事業は売上総利益と同様に前期比196,996千円減の91,001千円となり売上高営業利益率も4.1%（前期は9.8%）と前期比で低下いたしました。

この結果、連結営業利益は前期比で719,423千円増の893,195千円となり、連結売上高営業利益率も8.1%（前期は1.6%）と前期比で大幅に上昇いたしました。

(経常利益)

キャッシュ・フローの状況の分析・検討内容並びに資本の財源及び資金の流動性に係る情報

資本政策につきましては、財務健全性に配慮しながら、配当による株主への還元と将来の成長へ向けて必要な投資を実施することを基本としております。具体的には、運転資金、設備投資及び研究開発活動に係る資金需要

E05317)

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

--	--	--	--	--	--	--

(6) 【大株主の状況】

--	--	--	--	--

2【自己株式の取得等の状況】

【株式の種類等】 普通株式

- (1)【株主総会決議による取得の状況】
該当事項はありません。
- (2)【取締役会決議による取得の状況】
該当事項はありません。
- (3)【株主総会決議又は取締役会決議に基づかないものの内容】
該当事項はありません。
- (4)【取得自己株式の処理状況及び保有状況】

4【コーポレート・ガバナンスの状況等】

(1)【コーポレート・ガバナンスの概要】

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社のコーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方は、「企業価値向上」を目標とし、経営監督機能と業務執行機能の明確化、意思決定の迅速化及び経営の健全性・透明性の確保を目指してコーポレート・ガバナンスの体制を構築しております。また、当社を取り巻く全てのステークホルダーの皆様の信頼を獲得することを使命としております。

企業統治の体制の概要及び当該体制を採用する理由

当社は、監査役会を設置しており、社外取締役を含む取締役会が経営を監督する機能を担い、社外監査役を含む監査役会が取締役会を牽制する体制としております。取締役会及び監査役会の構成員につきましては、

「(2) 役員状況」に記載しております。

取締役会は、議長は代表取締役社長福永健司であり、会社の経営に関する重要事項の決定、報告を行い、取締役の業務執行状況を監督しております。なお、社外取締役として清藤勉氏及び斎藤穂高氏が参加しております。

監査役会は、3名全員が社外監査役で構成されております。監査役は、取締役会に出席し、取締役の職務の執

E05317)

b．当社のリスク管理体制

当社は、不測の事態または危機の発生に備え、「リスク管理規程」を定め、子会社を含む企業集団全体のリスクを網羅的に把握・管理する体制の構築を行い、各々のリスクに対する未然防止に努めております。その運

株式会社の支配に関する基本方針

a. 基本方針の内容

当社グループは「未来に資するとともに世界の人々の健康と豊かな暮らしの実現に貢献する」を経営理念とし、創薬の初期段階である探索基礎研究・創薬研究から、動物による非臨床試験、臨床試験、病理診断まで、創薬のあらゆるステージに対応できるシームレスなサービスを提供する創薬支援事業と、収益基盤強化を目的として幅広い分野のM&Aの推進を行うTGBS事業によって構成されています。

役職名	氏名	生年月日	略歴	任期	所有株式数 (株)

--	--	--	--	--	--	--

(3) 【監査の状況】

監査役監査の状況

当社の監査役監査は、監査役会制度を採用しております。常勤監査役1名及び非常勤監査役2名で構成されており、3名とも社外監査役であります。

(4) 【役員の報酬等】

役員報酬等の額又はその算定方法の決定に関する方針に係る事項

当社は、0、0 銭

c . 特定投資株式及びみなし保有株式の銘柄ごとの株式数、貸借対照表計上額等に関する情報
特定投資株式

--	--	--

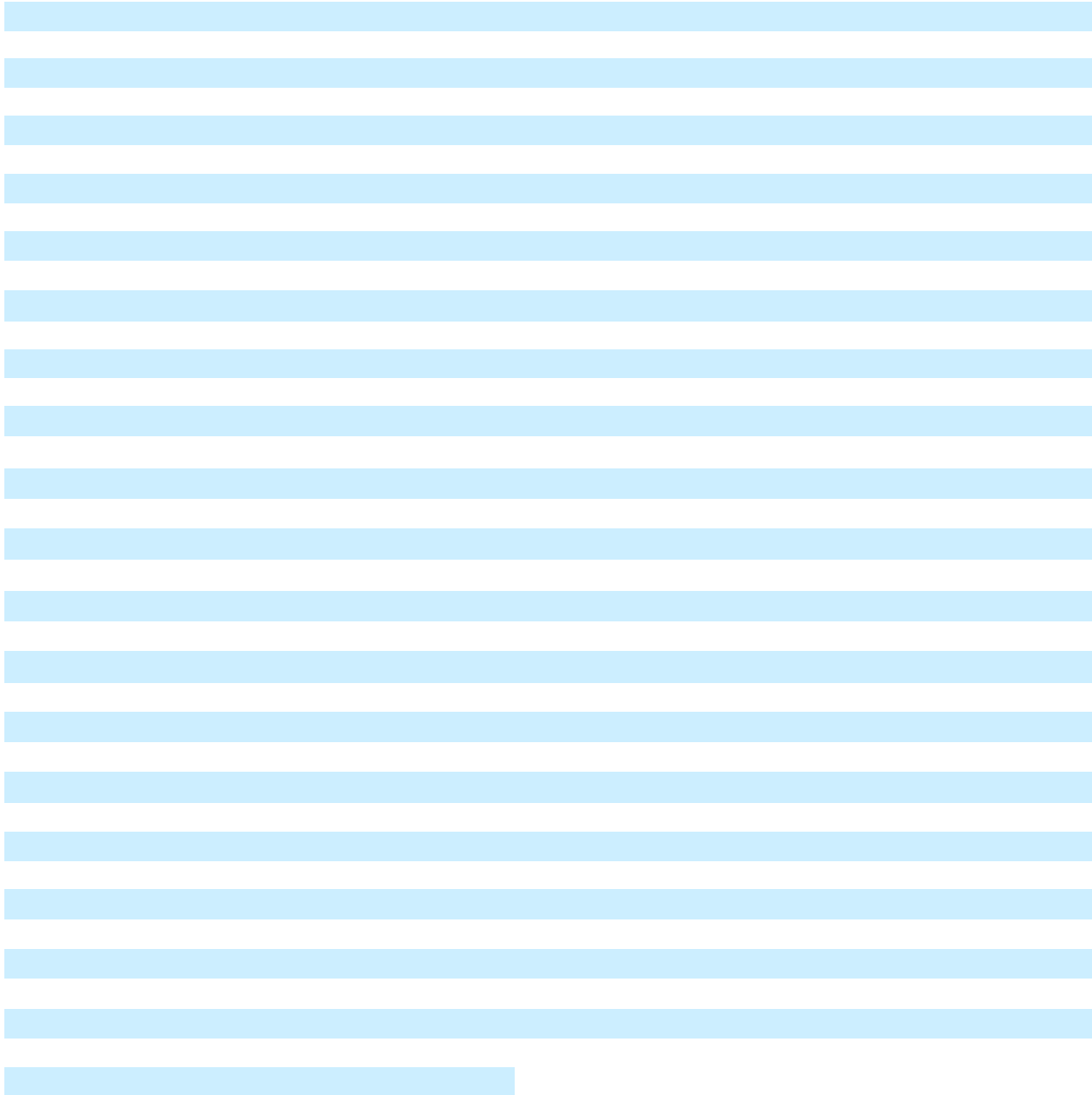
第 5 【経理の状況】

E05317)

1【連結財務諸表等】

(1)【連結財務諸表】

【連結貸借対照表】

The table content is redacted with light blue horizontal bars. The redaction covers the entire body of the financial statement table.

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）



E05317)

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法
E05317)

(未適用の会計基準等)

3 一般管理費に含まれる研究開発費の総額は次のとおりであります。

前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
38,316千円	26,776

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

↓

市場リスク（為替や金利等の変動リスク）の管理

外貨建の営業債権債務については、通貨別月別に把握された為替の変動リスクに対して、重要なものについて為替予約を利用する方針であります。

投資有価証券については、定期的に時価や発行体（取引先企業）の財務状況等を把握し、また、満期保有目
E05317)

当連結会計年度（2021年3月31日）

E05317)

(有価証券関係)

1 その他有価証券

前連結会計年度 (2020年 3月31日)

--

当連結会計年度(2021年3月31日)

--	--	--

(退職給付関係)

1 採用している退職給付制度の概要

一部の連結子会社は、退職一時金制度を採用しております。また、中小企業退職金共済制度に加入しております。

なお、当該連結子会社が有する退職一時金制度は、簡便法により退職給付に係る負債及び退職給付費用を計算しております。

2 簡便法を適用した確定給付制度

(1)簡便法を適用した制度の、退職給付に係る負債の期首残高と期末残高の調整表

(ストック・オプション等関係)

- 1 スtock・オプションに係る費用計上額及び科目名
該当事項はありません。

(2)ストック・オプションの規模及びその変動状況

当連結会計年度(2021年3月期)において存在したストック・オプションを対象とし、ストック・オプションの数については、株式数に換算して記載しております。

ストック・オプションの数

(税効果会計関係)

1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

当連結会計年度（2021年3月31日）

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

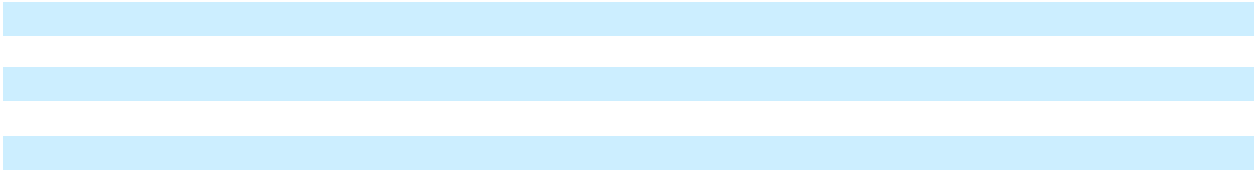
当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

【連結附属明細表】

4. 長期借入金（1年以内に返済予定のものを除く。）、リース債務（1年以内に返済予定のものを除く。）及びその他有利子負債（1年以内に支払予定のものを除く。）の連結決算日後5年間の支払予定額は以下のとおりであります。

--	--

2 【財務諸表等】
(1) 【財務諸表】
 【貸借対照表】



E05317)

【株主資本等変動計算書】

前事業年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

当事業年度（自 2020年 4月 1日 至 2021年 3月31日）



ヘッジ有効性評価の方法

第6【提出会社の株式事務の概要】

|

第7【提出会社の参考情報】

1【提出会社の親会社等の情報】

当社には、親会社等はありません。

2【その他の参考情報】

当事業年度の開始日から有価証券報告書提出日までの間に、次の書類を提出しております。

(1) 有価証券報告書及びその添付書類並びに確認書

事業年度（第22期）（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）2020年6月18日福岡財務支局長に提出

(2) 内部統制報告書及びその添付書類

2020年6月18日福岡財務支局長に提出

E05317)

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の監査報告書及び内部統制監査報告書

2021年6月23日

株式会社トランスジェニック

取締役会 御中

連 携 謹

有限責任監査法人トーマツ
福 岡 事 務 所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 城戸 昭博

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 甲斐 貴志

< 財務諸表監査 >

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられている株式会社トランスジェニックの2020年4月1日から2021年3月31日までの連結会計年度の連結財務諸表、すなわち、連結貸借対照表、済

内部統制報告書に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、財務報告に係る内部統制を整備及び運用し、我が国において一般に公正妥当と認められる財務報告に
E05317)

独立監査人の監査報告書

2021年6月23日

株式会社トランスジェニック

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ
福岡事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 城戸 昭博

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 甲斐 貴志

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「経理の状況」に掲げられて
任 堰 匿匿峰 奈 啖罕 耆 榷炮 樓勾籜苳 垢 卓考燾鄱數殖式覆

監査上の主要な検討事項

監査上の主要な検討事項とは、当事業年度の財務諸表の監査において、監査人が職業的専門家として特に重要であると判断した事項である。監査上の主要な検討事項は、財務諸表全体に対する監査の実施過程及び監査意見の形成において対応した事項であり、当監査法人は、当該事項に対して個別に意見を表明するものではない。

